

学びのステージに応じた教育のあり方

基礎を培う乳幼児期における保育・教育の充実

○元気なならっ子約束運動の推進

子どもたちの基本的な生活習慣の定着や規範意識・社会性等の涵養とともに、家庭教育の充実を図るため、「あいさつ」「おてつだい」「早寝早起き朝ごはん」等、親子で一緒に取り組む活動を促進します。



○小学校教育との円滑な接続

接続期のカリキュラムの編成を目的とした、幼稚園教員、小学校教員等対象の研修会等を計画・実施し、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を目指します。



本県の教育の課題に応じた教育のあり方

規範意識の向上と地域ぐるみで課題に取り組む仕組みづくり

○地域ぐるみで取り組む

小・中・高校生規範意識醸成



児童生徒が地域住民と体験活動やボランティア活動に協働して取り組み、自他の存在のかけがえのなさを認め合う豊かな人間関係づくりや、自己有用感と規範意識の醸成を目指します。

○地域と共にある学校づくりの推進

保護者や地域の人々が学校の教育活動に参画し、学校と協働して子どもたちを育てる様々な活動を展開します。また、県立学校においても、子どもたちの豊かな体験の場を創出するとともに、地域貢献を推進します。

○道徳教育の推進

一部改正された学習指導要領の内容や、指導のポイントをまとめた教員用の指導資料を作成するとともに、道徳教育推進リーダーの育成に取り組めます。

○いのちの教育実践研究発表会

子ども・保護者・地域の人々がうだ・アニマルパークに集い、動物に関する学習や体験を通して命の尊さを実感する機会とします。



本県の教育の課題に応じた教育のあり方

地域への誇りと愛着を抱き、地域と協働し、地域・社会に貢献する人材の育成



○郷土教育の充実

郷土への愛着を深め、郷土をよりよくしていこうとする態度の育成を図るため、高等学校における「奈良 TIME」の取組を生かし、小・中学校向けの「郷土学習の手引き」を作成します。